

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 9 7 号
件 名	「ボトナム通り」リニューアルプロジェクトについて
要 旨	<p>1959年12月14日から始まった在日コリアンの「北送事業・帰還事業・帰国事業」により、北朝鮮が「地上の楽園」という甘言を信じて、約9万3,340人の在日コリアンと家族が新潟港から北朝鮮に渡りました。その中には、日本人妻1,831人と被保護者を含め6,839人の日本国籍保持者もいました。1959年11月7日、第一次船に乗ることになった北送者と在日コリアンの北送を支持する日本人たちが、日朝親善と第一次北送船出港を記念して、ボトナム（朝鮮語で「柳の木」の意味）306本を植栽して新潟県に寄贈した通りが、新潟市にある「ボトナム通り」です。</p> <p>日朝親善という美名の下に「ボトナム通り」を見ながら北朝鮮に渡った人たちは、北朝鮮内で最下層身分として差別され、極貧生活を強いられ、強制収容所に送られ命を落とした人も多くいます。自由を剥奪され、人権が侵害された彼らの生活は北朝鮮によって封じ込められました。今日もなお、北朝鮮では、北送者とその家族の人権は無視され、命の危険におびえながら生活しているばかりか、全ての北送者は離散家族のままなのです。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	令和4年12月5日 文教経済常任委員会
受 理	令和4年11月10日 第376号

国際連合が2014年に発表した北朝鮮の人権に関する報告書では、北送者は拉致被害者と同じく「強制失踪の被害者」と認め、北朝鮮の人道に対する罪を訴えました。

「北送事業・帰還事業・帰国事業」は1984年で終了し、現在、「ボトナム通り」の柳の木多くは枯れてなくなっています。時間の経過とともに人々の記憶も薄れつつあります。私たちは柳の木を植栽し直し、「北送事業・帰還事業・帰国事業」の悲劇的な結果を歴史的事実として記録し、あらゆる人々が生まれながらに持っている人権の大切さを発信し、人権尊重の精神を育む場所として「ボトナム通り」をリニューアルしていきたいと考え、以下を陳情いたします。

記

- 1 新ボトナム会が、柳の木、新・記念プレート1基、新・「ボトナム通り」標識1基を寄贈し、「ボトナム通り」に植栽、設置することを新潟市が許可すること。